

令和5年6月7日

Press Release

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

日本紅斑熱患者の発生について

日本紅斑熱の患者が、市内（県内）で初めて発生しましたのでお知らせします。

日本紅斑熱は、主に日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ（※）に咬まれることで感染します。

マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まるため、特に注意が必要です。

なお、日本紅斑熱の人から人への感染は報告されていません。

※マダニは、食品や衣類などに発生するダニとは全く種類が異なります。

記

1 患者の概要

(1) 患者 50歳代女性（市内在住）

(2) 経緯 5月 7日 散歩後、左肩にマダニを発見

8日 発熱

15日 医療機関を受診

16日 検体を富山県衛生研究所に搬入

6月 6日 富山県衛生研究所による検査の結果、日本紅斑熱と判明

市内医療機関から市保健所に発生届が提出された。

(3) 推定感染経路

マダニによる刺咬

(4) 症状等 軽快

2 日本紅斑熱について

(1) 病原体及び症状等

日本紅斑熱は四類感染症であり、病原体はリケッチアの一種リケッチア・ジャポニカ (*Rickettsia japonica*) で、このリケッチアを保有するマダニに刺咬されることで感染します。

主な症状は、頭痛、発熱、発疹等で、潜伏期間は2～8日とされています。血液検査所見では、CRPの上昇、肝酵素（AST、ALT）の上昇、白血球減少及び血小板減少などが見られます。

(2) 全国の発生状況

年	R 1	R 2	R 3	R 4 ^{※1}	R 5 ^{※2}
感染者数	318	422	490	460	83

※1 令和4年の暫定値

※2 令和5年5月31日時点（第21週）の速報値

3 予防方法

マダニに咬まれないために、以下のことに気を付けてください。

①草むらや藪などに入る場合は、肌の露出を少なくしましょう。

- ・長袖、長ズボンを着用する。
- ・足を完全に覆う靴を履く。
- ・帽子、手袋を着用し、タオルを巻く。

②服は明るい色のものが良いでしょう。（マダニを目視で確認しやすいため。）

屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認してください。

4 マダニに咬まれた場合

マダニに咬まれていることに気が付いた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科）で処置をしてもらってください。また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

5 日本紅斑熱に関する情報は、下記のホームページをご覧ください。

- ・日本紅斑熱について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522_00001.html

- ・日本紅斑熱とは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/448-jsf-intro.html>

- ・ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>